



















# 共同開講科目

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)



















#### SDGs とは?

世界が抱える様々な問題を2030年までに解決するために作られた17の「持続可能な開発目標」です。

誰一人取り残さない社会の実現に向けて、日本政府をはじめ、 地方行政、企業、教育機関等が積極的に取り組みを推進しており、 現在では世界の共通言語として広く認知されています。

# 11/29<sub>[日]</sub>

8:50-17:00

北九州市で現地学習

12/1 [火]

8:50-17:00

#### 共同開講科目とは?

福岡未来創造プラットフォームに参画の 15 大学共同で開講する科目で、このプログラムでは、2 単位分の学修時間の修了証をお渡しします。

この修了証は、大学、学部・学科に応じて、各大学の 判断により、単位認定することもあります。

8:50-17:00 8:50-12:00

象:福岡未来創造プラットフォームに参画している 15 大学の学生

九州産業大学、九州大学、国際医療福祉大学、純真学園大学、西南学院大学、第一薬科大学、筑紫女学園大学、中村学園大学、日本赤十字九州国際看護大学、日本経済大学、福岡工業大学、福岡歯科大学、福岡女学院大学、福岡女子大学、福岡大学

定 員:30名(フィールドワーク対応のため)

会場:九州産業大学3号館1階人間科学部会議室

受講料:無料

参加条件:①全日程に参加することができる ②SDGs に興味がある

昼食:各自持参してください。

## 申し込み

受講申込期間

10/12[金] 11/6[金]

17:00締切



↑申し込みはこちら ※申込者数が多い場合は 抽選で決定します。

### 昨年度の様子



伝統や産地食品など 衰退しつつありますが、 SDGs をきっかけに 解決できないだろうかと 思いました。 ※コロナウイルス感染拡大防止のため 募集人数を縮小して開催いたします。 教室及びフィールドワーク移動時の 席配置、換気、手指消毒等感染防止 対策を行いますが、マスクの着用他 ご協力をお願いいたします。

問合せ先:福岡工業大学 学術支援機構 社会連携室 (collabo@fit.ac.jp)

| 科目名         |    | SDGs を学ぶ < 2 単位  | 分の学修時間の修了証を授与>   |  |
|-------------|----|--|--|--|
| 対象学生        |    | 福岡未来創造プラットフォームに参画大学の学生<br>九州産業大学、九州大学、国際医療福祉大学、純真学園大学、西南学院大学、第一薬科大学、筑紫女学園大学、中村学園大学、<br>日本赤十字九州国際看護大学、日本経済大学、福岡工業大学、福岡歯科大学、福岡女学院大学、福岡女子大学、福岡大学  |  |  |
|             |    | 2015 年 9 月の国連サミットにて加盟国の全会一致で「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択されました。<br>これは人類と地球の繁栄のための行動計画として策定されたもので、2016 年から 2030 年までの目標として「持続可能な<br>開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」が掲げられました。SDGs は 17 のゴールおよび 169 のターゲット |  |  |
|             |    | から構成されており、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one left behind)持続可能で包摂的な世界の実現を  |  |  |
|             |    | 目指すことが記載されています。本授業では、この SDGs の基本理念や構造を講義やカードゲームを通して学び、SDGs に   |  |  |
| 講義概要        |    | 関する取組の現地学習や事例の共有を通して、SDGsについての理解を深めると同時に、各人が自身の関心分野を切り口に、  |  |  |
|             |    | 他者と連携しながら持続可能な社会やまちづくりの実現に寄与するための足がかりを得たいと思います。  |  |  |
|             |    | SDGs の前の目標である MDGs(ミレニアム開発目標)との大きな違いは、先進国の役割が大きいことであり、日本では   |  |  |
|             |    | 企業憲章にも盛り込まれました。17 のゴールは互いに関連し合っており、包括的な取組が重要です。「我々は、地球を救う  |  |  |
|             |    | 機会を持つ最後の世代になるかもしれない」といった考え方のもと、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、私たちに   |  |  |
|             |    | できることは何なのかについて、ともに考えましょう。  |  |  |
|             |    | 本科目では、SDGsに関わって実際の現場で活躍されている講師を招き、具体的な活動や努力、体験などの話を聴講する。   |  |  |
| 講義計画で及び学内容) |    | 各講師の知見やさまざまな経験に触れることによって、受講者の SDGs や現代社会における課題に対する意識や理解が   |  |  |
|             |    | 深まることが期待される。   |  |  |
|             | □  | 内容   | 講師   |  |
|             | 1  | ①本授業の概要  | 九州産業大学 秋山 優 教授   |  |
|             |    | ②レゴ® シリアスプレイ® を活用したワークショップ(SDGs 入門)  | 聞間 理 教授  |  |
|             | 2  | 持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)とは   | 北九州市立大学 眞鍋 和博 教授   |  |
|             |    | ③2030 アジェンダ採択までの経緯   | אנאני נותר הועיים ביירון הועיים  |  |
|             | 2  | ①持続可能な開発目標(SDGs)の概要【北九州市立大学 眞鍋 和博 教授】  | 化力型生产工学 后短 扣捕 粉掉   |  |
|             | 3  | ②持続可能な社会の実現に向けて ~世界や日本の現状と企業・自治体などの取組事例~   | 北九州市立大学 眞鍋 和博 教授   |  |
|             | 4  | SDGs de 地方創生カードゲームを通して私たちの地域における持続可能なまちづくりの<br>施策の展開や影響と SDGs との関係性について体験する  | 九州産業大学 秋山 優 教授<br>ーノ瀬 大一 係長  |  |
|             | 5  | SDGs de 地方創生カードゲームを通して私たちの地域における持続可能なまちづくりの  | 九州産業大学 秋山 優 教授   |  |
|             |    | 施策の展開や影響と SDGs との関係性について体験する   | 一ノ瀬 大一 係長  |  |
|             | 6  | フィールドワーク①「持続可能な社会の実現に向けて」北九州市(環境)の取組『エコタウン』  |  |  |
|             | 7  | フィールドワーク①「持続可能な社会の実現に向けて」北九州市(環境)の取組『エコタウン』  | STOCK COLUMN DECIDE TO THE COLUMN SECURITIES |  |
|             | 9  | フィールドワーク②「持続可能な社会の実現に向けて」北九州市(社会)の取組『障害者支援施設』  | 10000000000000000000000000000000000000   |  |
|             |    | フィールドワーク②「持続可能な社会の実現に向けて」北九州市(社会)の取組『障害者支援施設』<br>SDGs に関するワークショップ  | 九州産業大学 坦迫 裕俊 教授  |  |
|             | 11 |  | 福岡工業大学 藤井 洋次 教授  |  |
|             | 12 | SDGs と持続可能な生活様式  | 福岡女子大学 ジャヤセーナ・パスマシリ 教授   |  |
|             | 13 | 地域課題を発見・整理する   | 九州産業大学 垣迫 裕俊 教授  |  |
|             | 14 | レゴ ® シリアスプレイ ® を活用して SDGs を自分事化するワークショップ   | 九州産業大学 聞間 理 教授   |  |
|             | 15 | まとめ及びグループ発表「各々の大学の学生として SDGs を推進する取組について研究発表」  | 九州産業大学 秋山 優 教授中世古 貴彦 講師  |  |
| 到達目標        |    | SDGs については、教育機関、民間企業及び市民がその担い手として重要である。  |  |  |
|             |    | 持続可能な社会や持続可能なまちづくりについて学ぶ学生として、①SDGs に関する基礎的な知識   | AND THE PARTY OF SECURE SECURE STATES OF STATES OF SECURE SECURE SECURE SECURE SECURE SECURE SECURE SECURE SEC   |  |
|             |    | 説明することができ、②SDGs にあげられた各種課題を「自分ごと」としてとらえ、③他者と連携して、④各々の大学の学生として、   |  |  |
|             |    | SDGs 推進の取組を提案することができることを到達目標とする。   |  |  |
| 準備学習の内容     |    | 事前学習:SDGs に関する新聞記事、インターネットニュース、本や文献を読むこと(2 時間)   |  |  |
|             |    | 事後学習:授業で学んだ知識や経験に基づき、自分事として何ができるか考え、行動すること(2 時間)   |  |  |
|             |    | 各大学の認定基準に準じる。  |  |  |
|             |    | 授業終了時のミニッツペーパー(50%)と発表及び総括レポート(50%)で評価する。  |  |  |
| 受講上の注意      |    | 遅刻、途中退席、授業中の私語・スマホ操作は慎むこと。新型コロナウイルス感染症拡大予防に協力すること。<br>未来を変える目標 SDGs アイデアブック 蟹江憲史(慶應義塾大学大学院 教授)   |  |  |
| 参考文献        |    | マンガでわかる SDGs SDGs ビジネス総合研究所 経営戦略会議<br>SDGs の基礎 事業構想大学院大学 出版部<br>持続可能な地域のつくり方ーー未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン 寛裕介   |  |  |
|             |    |  |  |  |